

令和2年度 NPO基盤強化支援事業事業報告書

団体名	チャイルドラインおおいた
<p>1. 事業の内容及び今回の活動が地域課題の解決のためにどの様に役立つかについて記入してください。(チラシ等の印刷物がある場合は、それも添付してください)</p> <p>「チャイルドラインおおいた」は、2011年5月5日の開設以来、多くの子どもの声を聴き、気持ちを受け止めて来ました。そして、子どもの話に耳を傾ける大人を増やし、電話から見える子どもの現状を広く発信していくことで、子どもが生きやすい社会の実現をめざして来ました。開設10周年という節目の年である2021年5月に、今までの活動を振り返り、支援していただいた方々への感謝とともにこれからの社会を担う子どもへのエールを込めて、「チャイルドラインおおいた」10周年記念事業を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶2021年5月5日(水) 10:00～15:00 ホルトホール大分 1階エントランス チャイルドライン広場の実施 県下の子どもたちに募集したチャイルドラインおおいたカードデザインの表彰式 パネル展示、スタンプラリー、遊び体験、チャット体験 等 ▶2021年5月8日(土) 14:00～ (一社)大分県労働福祉会館 ソレイユ 10周年記念式典 基調講演 演題 「子どもに寄りそうということ ～子どもの視点から見えることで広がる可能性～」 講師 山田眞理子氏 チャイルドラインもしもしキモチ 代表理事 ▶10周年記念誌「チャイルドラインおおいた10年のあゆみ」の作成・発行 1,000部作成 <p>新型コロナウイルスの感染状況を心配しながらの開催でしたが、「チャイルドライン広場」には、多くの来場者があり、また、マスコミ取材もあり、チャイルドラインの活動をより多くの人に知ってもらうことができました。</p> <p>10周年記念式典や基調講演は人数を制限しての開催でしたが、このコロナ禍で、子どもに寄りそうことがいかに大切であるかを再認識することができました。</p> <p>10周年記念誌「チャイルドラインおおいた10年のあゆみ」は、チャイルドラインおおいたを支援してくれる個人・団体をはじめ、子どもに関わる活動をしている関連機関に広く配布し、チャイルドラインおおいたの活動を知ってもらうきっかけになりました。</p>	

2. 事業を実施している様子の分かる写真を4枚以上添付してください。

チャイルドライン広場

2021年5月5日（水）10:00～15:00 ホルトホール大分 1階エントランス



10周年記念式典 基調講演

2021年5月8日（土）14:00～ (一社)大分県労働福祉会館 ソレイユ



3. 来年度以降、事業をどのように継続していくかについて記入してください。(活動を継続するための運営体制<会員や住民団体等との連携を含む>の強化や安定的な収入確保の方策について具体的に記入してください。)

チャイルドラインおおいたの活動を広く周知してもらい、様々な繋がりを持つことで、子ども「声」を行政や地域に発信し、子どもにやさしい社会になるための努力を続けていきたいと思えます。

今回学んだめじろん基金寄付のノウハウを活かして、より充実した活動し広報をすることにより、寄附金の拡大をしていきたいと思えます。